

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月29日 更新

事務事業名		図書館施設維持管理事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり						所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫
	施策	21	生涯学習の推進						所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
	施策の柱	69	生涯学習施設(環境)の整備						所属班	図書館	(内線)	2532
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番10858	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥				
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	図書館の建物、施設の維持管理のための事業。 西合志館については、単館のため図書館で維持・管理の事務を行っている。ヴィーブル館・泉ヶ丘館については、ヴィーブルで一括で行っている。 図書館開館後19年以上が経過し、経年による老朽化により故障が発生している。 御代志市民センター、郷土資料館、ひまわり公園をひとつのエリアとし、高木管理を郷土資料館が管理、低樹木管理を西合志図書館が行なっている。また御代志市民センターを除くエリアの清掃管理を西合志図書館で行なっている。
【業務の流れ】	施設機能維持のための予防保守・メンテナンス、故障機器等の修繕
【主な予算費目】	修繕費、施設修繕費、光熱費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	急な故障により予算措置ができず、長期間使用できない場合があり、利用者から苦情を寄せられることがある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
清掃委託、消防用設備保守点検委託、自動ドア保守業務委託、空調設備保守点検委託、エレベーター保守点検委託、機械警備業務委託等、駐車場水銀灯塗装、屋上チャラ電気・電子部品取替整備工事、低樹木管理を行う。	施設維持のための保守を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 施設維持管理費用	円	開架スペースの電球切れが目だっており、電球まで5m程度の高さがあり即時の電球交換もできない状況であるため、館内全体の電球を長寿命のLEDに一括切り替えることにより経費削減を図り、快適な読書空間を安定して提供できる環境を整備する。それに伴う委託料及び工事請負費の増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
図書館利用者	→ ア: 利用者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
より多くの利用者に安全・快適に利用してもらう	→ ア: 施設維持管理上不具合・トラブル件数	件
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理の事業のため不具合等の件数とした。経年により前年度目標と同程度とした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	アイ	円	13,587,000	12,087,000	11,581,000	11,471,491	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	
② 対象指標	アイ	人	81,492	86,857	80,000	113,342	90,000	100,000	110,000	110,000	
③ 成果指標	アイ	件	5	3	0	12	0	0	0	0	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	7	10	3	12	1	10		
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	千円	13,178	11,358	11,578	11,459	22,584	72,622			
		(A)のうち指定経費	千円	13,185	11,368	11,581	11,471	22,585	72,632	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	4	4	3	4	3	3	0	0
	(B) 人件費計		千円	272	380	480	522	480	480	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,083	1,513	1,912	1,938	1,912	1,912	0	0	
		千円	14,268	12,881	13,493	13,409	24,497	74,544	0	0	

事務事業名	図書館施設維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 トイレの故障や、漏電、汚水マス破損など小規模の不具合が多数発生した。
	②28年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 設備の修繕をこまめに行っているが、施設が老朽しているため不具合は増加するものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い維持保守は増加するものと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設の維持・管理の事業であり他に手段がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 他課の施設と一括で保守等の契約や長期継続契約を活用することにより、事業費の節減が期待できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 契約事務が発生するため、削減の余地は限られる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 利用者が安全で快適に読書活動や情報収集をするための事業であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の施設であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

設備の維持・更新を計画的に行っていくことで不具合をより少なくできる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 行政改革大綱及び合志市集中改革プランにより図書館の指定管理を検討している。指定管理後は新設した「図書館管理運営委託事業」に統合。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							